

# 自分らしく生きることが尊重される社会を

12月市議会

## どう取り組むのか主権者教育

砂田市議 主権者教育につ

いて、1947年の教育基本法には「教育は、人格の完成を目指し、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、自主的精神に満ちた心身ともに健康な国民の育成を期して…」と主権者を育てることを明記していた。

### 「派遣をなくしてく れる政党は？」

ある高校生が、「うちのお母さんは、派遣で働いていて、ちっとも楽しくない。派遣を無くしてくれればいい。派遣を無くして、どこが派遣を無くしてくれればいいのか、分からない」と言っていたそうだ。

自分たちの暮らしにかかわって、政治の情報を子どもたちに伝えることは、主権者教育として大切ではないか。

野澤教育長 子どもたちの発達段階に応じて主権者教育の内容は異なるべきと考える。児童会活動を通じて他者の異なる意見を聞きながら、学校運営にかかわる重要性などが、識者からも指摘されている。

砂田市議 小学校では児童会長の選挙が行われていないと聞いて驚いた。18歳までに、主権者にふさわしい知識や判断力を養うのは、義務教育と高校教育の内容として必要不可欠だ。

### 自己肯定感 日本高校生7・5%

砂田市議 「自分を価値ある人間だ」と思うか？」の問いに中国、アメリカ、韓国の高校生は50%以上が「YES」であるにもかかわらず、日本の高校生は、7・5%という、自己肯定感の低さ。日本の教育というのは、大きくなるにつれ、自信を無くし、無力感を募らせていく過程といえるかもしれない。

なぜそうなるのか。安心して自分の思いを言い合える、学級、学校、家庭、職場を土台に、その子、その人らしく生きることが尊重される社会をつくっていくことが大切ではないか。

野澤教育長 今聞いて、私自身も残念に思う。集団活動に主体的に参加する力、地域の中でしっかりと自分自身かわたつて行動できる力、そして主体的に自分で判断する力を小中学校の間で育ていくことが大切であると思う。



### 多人数学級支援講師 市 小三に拡大を検討

砂田市議 県下で小矢部市が独自に小学1、2年生の30人を超えるクラスに多人数学級支援講師を配置している。これは大変効果を上げ喜ばれている。小学校全学年に配置を求めたい。

野澤教育長 小学3年生にも拡大できないか、検討しているところだ。小学3年生から新たな社会科、理科、総合的な学習の時間が加わり、学習の習熟度にも差が現れ個別の指導が必要になる子が多くなること、発達段階におけるギャングエイジに伴う対応の難しさなどがある。

### 就学援助の入学準備 金の入学前支給 市 平成29年度に 向け検討

砂田市議 就学援助の入学準備金を入学前に支給するよう求めたい。

教育委員会事務局長 入学前に入学準備金を支給するにはどのような時期や実施方法が適切か、全国の例も参考に、平成29年度からの実施に向けて研究を行っている

## あいの風とやま鉄道

### 石動駅の折り返し運転を

砂田市議 あいの風とやま鉄道の石動駅の折り返し運転を実現してほしい。

企画政策部長 まずは高岡駅での折り返し運転を金沢駅での折り返し運転に延伸させ、石動駅の運行本数を増加させることにより、利用者の利便性の向上が図られるよう、あいの風とやま鉄道株式会社や富山県へ要望していきたい。

### 石動駅に無料駐車場を

砂田市議 富山、高岡、金沢へのマイカー利用を鉄道に切り替えるには、石動駅に無料駐車場を設置することは非常に重要だ。新図書館ができて駅周辺の駐車場全体が整備されたあかつきには、一定時間無料の駐車券という手だ

ても有効でないか。

石動から電車で金沢や富山へ行くわけで、乗りかえも含めれば往復2時間ぐらいいかかる。向こうで会合に4時間ぐらいいかかるのであれば、6時間ぐらいい無料にする仕組みを考えるべきではないか。

### 「無料駐車時間の拡大を 検討する」

産業建設部理事 無料駐車時間の拡大については、図書館利用者の無料駐車時間をどうするのか、石動駅の利用者拡大のためにはどうすればよいかなどを、副市長を委員長とした関係部課長による庁内組織、都市再生整備計画事業推進委員会で、平成30年度には検討したい。

## 下水道計画見直しについて中間報告

### 市内全域水洗化目標を 概ね10年に

小矢部市は公共下水道整備計画を見直すために、12月議会に中間報告をしました。市内全域水洗化を概ね10年程度(2027年3月まで)を目標に早期整備を進めることとしました。県道や一部の幹線市道には基幹管路を配置し、その沿線は公共下水道整備とします。

### 公共下水道が、合併処理浄化 槽かは、1戸ごとに比較

公共下水道で整備するか、合併処理浄化槽で整備するかの比較・検討につい

### 見直して整備費用が 206億円から98億円に縮減

従来の計画では未整備地区の整備に206億円と見込んでいましたが、今回の見直しで公共下水道1679件、合併処理浄化槽699件の整備費用は98億円です見直しです。

砂田市議は下水道計画の見直しを何度も議会で取り上げてきました。